



▲ファシリテーターに挑戦

1月9日、中央公民館で「ファシリテーターに挑戦!!～地域や社会での豊かな対話を求めて～」が開催され、27人が参加しました。会議進行役の手法についての講義やワークショップを行うと、参加者は「地域や職場で生かしたい」と話し、真剣な表情で取り組んでいました。 【福島 順一】



▲市消防出初式

1月10日、オーエンス文化会館駐車場で市消防出初式が行われ、会場の外に立ち見ができるほど多くの見物客が集まりました。第1部では県知事表彰や市長表彰などが行われ、第2部では消防音頭やポンプ車操法、合同訓練演技などが披露されました。 【米山 徳治】



▲五社神社で消防訓練が行われました

1月26日の文化財防火デーに合わせて、五社神社(早川)で防火訓練が行われました。市の大切な文化財を火災から守るため、毎年行われています。消防車が境内に入れないので入り口付近に止め、消防士たちは手際よく操作し、放水しました。 【米山 徳治】



▲感動の親子共演

1月28日、市役所で市民ホールコンサートが開催されました。市内在住の蓮野恵さんがオペラを高らかに歌い上げ、娘のまゆこさんとゆいさんがピアノで伴奏しました。最後は、姉妹でピアノ連弾を披露するなど、親子の共演で大勢の来場者を魅了していました。 【高橋 元】



▲“だまされないで” その電話

1月27日、中央公民館で「だまされない防犯講座」が開催され、23人が受講しました。綾瀬女性防犯会の皆さんによる詐欺の手口などの寸劇が披露されたほか、大和警察署の大澤康子係長から実例に基づく話がありました。参加者からも、振り込め詐欺の電話があったときの様子や内容などが紹介されました。 【福島 順一】



▲郷土を知って魅力を再発見

1月30日、中央公民館で郷土を知る講座が開催され、39人が参加しました。「ふるさと宝カルタ」を用いて本市の歴史や名所が紹介されたほか、農業や中小企業が取り上げられ、綾瀬ならではの特徴が解説されました。講師の高橋元さん(小園)は「先人の築いてきた貴重な遺産を守り、育むことが大切です」と話しました。 【長谷川 智恵】



▲心温まる街角

1月下旬、目久尻川に架かる古矢橋の手前の横断歩道で、古矢橋見守り隊の豊島さんと女性2人が、通学する児童の誘導を行っていました。ここでは道路がカーブし、車の通行が多い場所です。豊島さんは「現在、10人のボランティアで分担しています。もっと多くの人に協力していただくとありがたいです」と話します。 【馬場 正勝】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲基地問題講演会が開催されました

1月23日、オーエンス文化会館で基地問題講演会が開催され、120人以上が参加しました。防衛ジャーナリストの桜林美佐さんが「今後の安全保障政策と自衛隊の活動」をテーマに、日本を取り巻く国々との諸問題について講演すると、受講者は熱心に聴いていました。 【米山 徳治】



▲けん玉の極意は膝にあり

けん玉の極意は「膝の使い方と、諦めないでやり通すこと」と話すのは、けん玉道五段の岸睦典さん(大上在住)。さまざまな世代が交流する機会になればと、けん玉を広める活動をしています。1月24日、岸さんが講師を務めた人材バンク活用講座が中央公民館で開催され、小学生～大人の18人が参加しました。 【馬場 正勝】



▲スポーツ交流の集い

1月29日、スポーツセンターで市老人クラブ連合会による市総合スポーツ大会が開催され、各地区から多くの方が参加しました。会員相互の親交を深めるとともに、生涯スポーツの振興を目的に、カローリングのほか2種の競技と対抗試合が行われました。 【大滝 隆司】